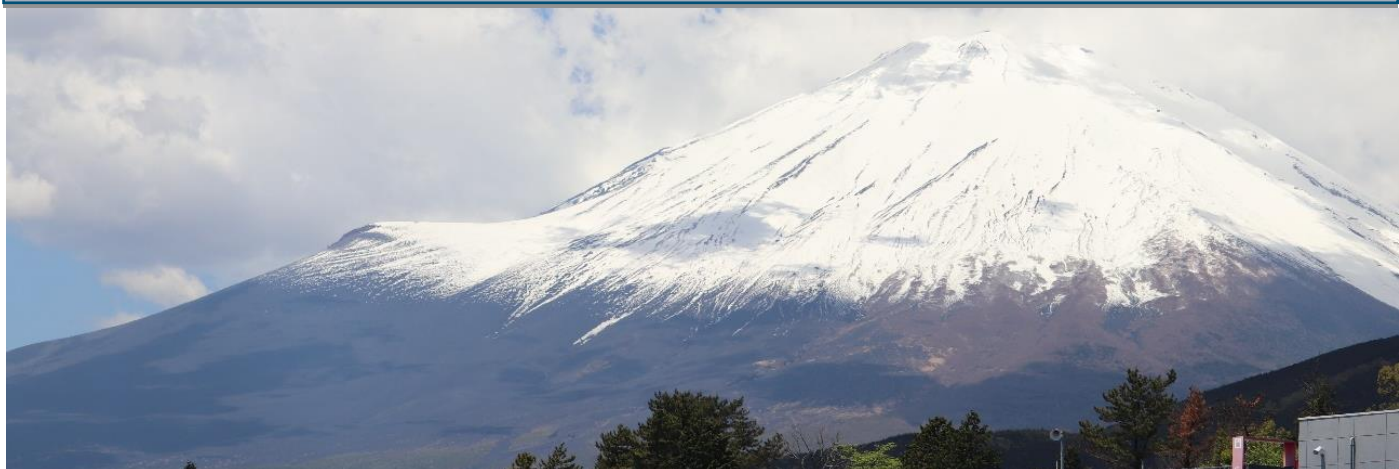


2021 AUTOBACS SUPER GT Round 2

たかのこのホテル FUJI GT 500 km RACE



NISSAN MECHANIC CHALLENGE



この活動は下記のパートナー企業様に支えられています

NISSAN REALIZE YOKOHAMA UD TRUCKS Logisnext PITWORKS 日産車体 AUTECH Quick Pro Paint
 ROCK PAINT PREMIER Assist 株式会社ゼロ ANA SWEAT COAT NGK NTK KENWOOD raffinée MAC TOOLS Déff KAWMOTO
 LSI GT LSI KSB EVERETT L'ACURE SUNTORY pepsi PUMA EBBRO 福島日産 日産プリンス栃木 埼玉日産
 日産プリンス埼玉 日産プリンス東京 神奈川日産 日産プリンス神奈川 岐阜日産 愛知日産 日産プリンス名古屋 滋賀日産 京都日産
 日産大阪 日産プリンス秋田 松本日産 千葉日産 日産自動車販売 浜松日産 日産プリンス静岡 福岡日産 日産サティオ佐賀 日産プリンス長崎
 日産サティオ弘前 日産プリンス宮城 日産サティオ浦南 三重日産 日産プリンス三重 兵庫日産 和歌山日産 日産サティオ岡山

GT300 レース結果

予選 (5 月 3 日)

1 位	#61	SUBARU BRZ R&D SPORT	1 '35.343	トップとの差
2 位	#55	ARTA NSX GT3	1 '35.485	+0.142
3 位	#60	SYNTIUM LMcorsa GR Supra GT	1 '35.824	+0.481

...

(Q2 タイム)

26 位	#56	リアライズ日産自動車大学校 GT-R	1 '36.992	+1.649
------	-----	--------------------	-----------	--------

(Q1 タイム)

決勝 (5 月 4 日)

優勝	#60	SYNTIUM LMcorsa GR Supra GT	3:04 '16.736	トップとの差
2 位	#61	SUBARU BRZ R&D SPORT	3:04 '17.448	+0.712
3 位	#55	ARTA NSX GT3	3:04 '18.022	+1.286

...

(103Laps)

7 位	#56	リアライズ日産自動車大学校 GT-R	3:03' 23.817	+1Lap
-----	-----	--------------------	--------------	-------

LAP1 : 2 台を抜き 24 位に浮上

LAP32 : PIT IN した後に FCY 宣言が出された。ピットアウト時 16 位

LAP44 : 5 位まで浮上

終 盤 : LAP104 で FCY が宣言されて、最終的に 7 位でチェッカーフラッグを受けた



NISSAN MECHANIC CHALLENGE

“舞台は学校からサーキットへ”

日産自動車、日産自動車大学校、KONDO Racing が共同で取り組むプロジェクト
普段の学校生活では、得ることのできない経験やスキルを身に着けることができる

日産販売会社 TS（テクニカル・スタッフ）インタビュー

今回の富士戦に参加された 5 名の TS の皆さんに 2 つの質問に答えて頂きました。

Q1： プロジェクトへ参加を希望した理由を教えてください



千葉日産自動車（株）
奥谷 真志さん （勤続 14 年）

A：小さい頃から車が好きで、モータースポーツにも興味がありました。今回、メカニックチャレンジの企画を知り、いつも観戦している SUPER GT をメカニックという違う立場で参加してみたいと思いました。
また、自分の力や知識がどこまで通用するのか体験してみたいと思い、参加を希望しました。

株式会社日産サテオ富山
高島 有輝さん （勤続 9 年）

A：昔から、モータースポーツが好きで、モータースポーツに携わってみたいと思い参加しました。
また、普段の仕事との違いも感じてみたかったからです。



Q2 : “販売会社の現場”と違うところを教えてください



松本日産自動車(株)
池井 亮太さん (勤続6年)

A : ディーラーの整備は、悪い所を直して終わりです。
しかし、レースメカニックは、エンジニアや、
ドライバーの意見、過去の記録を元に、車を速く走ら
せるため、0.25mm~1.00mmの微調整を繰り返してい
ました。レースで優勝して初めて正解がわかります。
同じ車ですが、タイヤの空気圧や、アライメント、
車高調整などの精度が違いました。

日産プリンス静岡販売(株)
磯部 元樹さん (勤続16年)

A : ディーラーだと、時間ごとに予約が入っている
ため、常に時間に追われてしまいます。
しかし、レースだと一台のために、とことん時間
をかけて作業ができます。すべてはレースに勝利
するためです。



日産自動車販売(株)
吉原 航基さん (勤続2年)

A : 車一台に対する作業人数の違いです。
販売会社では、ひとりで一台の車を整備
するのに対し、レースチームでは、一台の
レースカーを複数人のメカニックやエン
ジニアが作業していくので、レースは
特にチームワークが大切だと思いました。



テクニカルスタッフの皆様、お忙しい中ありがとうございました。

学生スタッフ活動内容

TECHNICAL STAFF

3 年 伊藤さん

テクニカルスタッフのお仕事とは？

- ・ピットに入って TS の方やメカニックと共に競技車両のメンテナンス
- ・撤収作業、片付け等のサポート

この仕事を通して学んだこと

今までは「誰かがやっているからいいや」

「私はやる事がないから何もしなくて

いいや」と思ってしまうことがありました。

しかし、この仕事をして気付いたのは、自ら進んで「何かやるべき事はあるだろうか」「今、自分は何をしなければならないのか」「今、自分は何が出来るだろうか」と考え仕事を与えられる前に、仕事を探しに行けることです。したがって「今はこの作業をやっているから、次はあの作業をやるだろう」と考えて、先を見越して作業するといった主体性や、何かを任された時に必要な物を準備しておいて、効率よく作業を行う事ができるといった自主性を身に付けることができました。



PIT MANAGER

2 年 石原さん

ピットマネージャーのお仕事とは？

- ・ドライバーのサポート
- ・YouTube LIVE の MC



この仕事を通して学んだこと

ドライバーのサポートはもちろんですが、飲み終えたペットボトルを持っている方がいたら、そのゴミを貰ってゴミ箱に捨てたり、お弁当を配布する際に、飲み物を持っていない方には、お茶がいるか聞いて渡す等、メカニックや関係者、その他スタッフへの気遣い、また、周りを見て自分から行動するということを学びました。

また、MC では語彙力や言葉遣いが前回に比べて、改善向上できました。

HOSPITALITY

3年 澁谷さん

ホスピタリティのお仕事とは？

- ・ホスピタリティエリアで使う物品などの準備及びエリアの設営を行うこと
- ・スポンサーの皆様への接客。主に「ご案内」「ドリンク及びお弁当サービス」



この仕事を通して学んだこと

学校の授業でやる接客は、自動車を整備する際のご用命事項の確認や、整備結果の説明をする事が主な内容でした。しかし、今回のホスピタリティでは、どのようにしたらお客様に気持ちよくお過ごし頂けるかを考えて動く必要があるため、学校では学べない接客術を学ぶことができました。

また、自ら考えて動くことや、周りに合わせて動くことが身に着きました。

リーダーに関しては、1,2年生に指示を出すときに、ただ出すだけでなく、やってほしいことなどを細かく伝えることを意識し、緊急の業務を割り振る際は、どうすればうまく指示を出せるのかを考えて動きました。想像していたより難しかったです。周りをよく見て、気遣いを忘れないことを学びました。

学生統括

3年 久保川さん

統括のお仕事とは？

- ・班員の育成、統率
- ・ホスピタリティエリアの運営統括
- ・当日の不測の事態への対応

この仕事を通して学んだこと

統括を経験して、1番成長したと感じたのは問題解決力です。あらゆる不測の事態を予測して事前に対策を練ることにより、現場ですぐに対応することができました。また、予想外の事が起きても、全体の動きを把握しているので、その問題の解決に何人必要か、誰が適任かなどを瞬時に判断し対応するなどして、運営を円滑に行うことができました。

今回統括を担当して、仲間を理解することの大切さを学びました。



広 報



広報のお仕事とは？

- ・レポート作成
- ・レースや活動の写真撮影、取材

この仕事を通して学んだこと

全く同じ写真は、2度と撮れません。
広報は、限られた時間の中で、その一瞬一瞬の情報をどれくらい集めてもらえるか、予想外のことが起きた際、どのように対応すれば最適なのか。時間を考え、その後の展開を予測して行動する。これらは、今まで理解していながらも出来なかったことが多くあり、今回

の課題でもありました。広報のメンバーでミーティングを重ねて、各担当場所を責任をもって積極的に活動したことで、沢山の情報を集めることができました。
責任感や積極性、共同性、協力性などが成功への必須アイテムなのだと気づくことができました。

広報所感

良くも悪くも、今までの経験でこうだろうと想定していた事が、大きな間違いだった事はよくあります。その原因は、情報不足であったり、勘違い、タイミングや、運であったりします。

我々、広報の活動内容で、レポート作成一つとっても、事前に用意できるものもあれば、状況によって柔軟に対応しなければならない場合があります。

レースの状況から推測した通りに、目的の写真に、たどり着く事もあれば、偶然、良い写真が撮影できたりします。また、観客席でも一段変わると、今まで見ていたものが、違う様に見えたりすることがあります。

1、見えない未来に備えて、できる限りプランを増やす。

2、想定外の事が起きても、臨機応変に対応する。

SGTに参加して、成功や失敗を繰り返しました。そこから学んだことを、日常で活かして、さらに向上していこうと思いました。

末筆ではありますが、この活動を支えて頂きました関係者の皆様にお礼申し上げます。 以上



撮影・取材・レポート作成

愛知校 大村、日比、望月、齋藤、崎山